



2024年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月14日

上場会社名 株式会社アイスタイル 上場取引所 東
 コード番号 3660 URL <https://www.istyle.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長CEO (氏名) 吉松 徹郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副会長CFO (氏名) 菅原 敬 (TEL) 03(6161)3660
 四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2024年6月期第2四半期の連結業績(2023年7月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第2四半期	27,117	33.2	851	235.5	808	—	482	—
2023年6月期第2四半期	20,358	19.0	254	—	18	—	△36	—

(注) 包括利益 2024年6月期第2四半期 488百万円(—%) 2023年6月期第2四半期 △224百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年6月期第2四半期	6.27	4.17
2023年6月期第2四半期	△0.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年6月期第2四半期	26,463	10,375	35.6
2023年6月期	24,301	10,690	41.6

(参考) 自己資本 2024年6月期第2四半期 9,415百万円 2023年6月期 10,099百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年6月期	—	0.00			
2024年6月期(予想)			—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年6月期の連結業績予想(2023年7月1日~2024年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,000	16.6	1,200	46.8	1,000	143.7	700	154.3	9.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年6月期2Q	79,563,593株	2023年6月期	79,563,593株
2024年6月期2Q	2,693,567株	2023年6月期	2,693,567株
2024年6月期2Q	76,870,026株	2023年6月期2Q	73,859,472株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

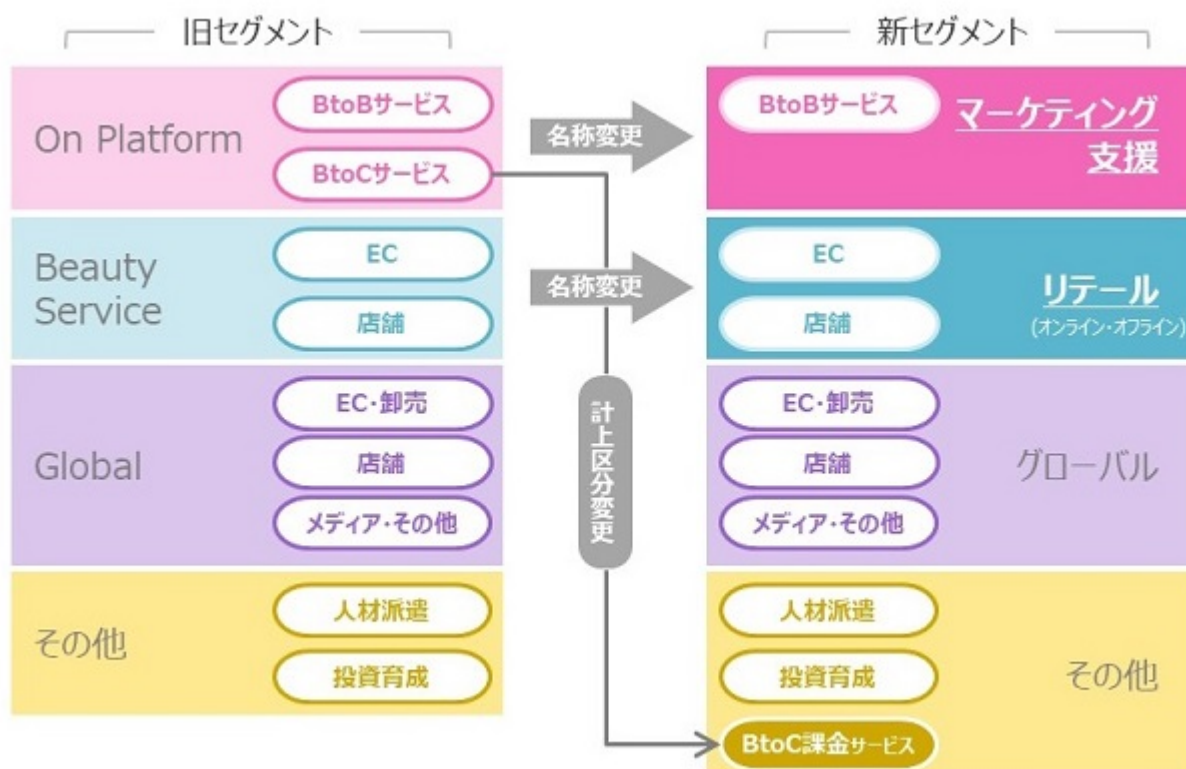
1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

化粧品業界におきましては、2020年から「新型コロナウイルス（COVID-19）」の影響により低迷しておりましたが、2022年10月の日本入国時における水際対策緩和によりインバウンドが増加傾向にあることや、2023年3月からマスクの着用が原則不要になったことによる消費者センチメントの変化により、これから消費傾向は益々回復に向かうものと見込んでおります。

当社グループは、前期に引き続き、国内で展開するEC・店舗の小売販売力及び販促力を活かし、当該サービスの売上高を伸ばすだけでなく、化粧品ブランドの業績にも貢献することで、当社メディアへの広告出稿、ソリューションサービスの活用を増やすことで好循環を形成し、更なる増収・増益を目指しております。

(参考) セグメント名称及び一部サービスの計上セグメント変更



当第2四半期連結累計期間における業績は以下の通りです。

売上高におきましては、国内で展開しているマーケティング支援事業及びリテール事業が業績を牽引し、前年同期比で33.2%の増収となりました。店舗が引き続き好調に推移しており、ECにおいては、スペシャルイベント「@cosme BEAUTY DAY」が成功をおさめたことで、リテール事業は前年同期比で47.4%と大きく増収しました。また、マーケティング支援事業においても前年同期比で12.8%の増収となり、過去最高の半期売上高を記録しました。

営業利益におきましては、マーケティング支援事業及びリテール事業の増益により、全社的な人件費増加や「@cosme BEAUTY DAY」のプロモーション費用も吸収して、大きく増益しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は以下の通りとなりました。

売上高	27,117百万円	(前年同期 20,358百万円 / 前年同期比 33.2%増)
営業利益	851百万円	(前年同期 254百万円 / 前年同期比 235.5%増)
経常利益	808百万円	(前年同期 18百万円 / 前年同期比 791百万円増)
税金等調整前四半期純利益	799百万円	(前年同期 11百万円 / 前年同期比 787百万円増)
親会社株主に帰属する四半期純利益	482百万円	(前年同期 △36百万円 / 前年同期比 517百万円増)

① マーケティング支援

当セグメントには、当社が運営するコスメ・美容の総合サイト「@cosme（アットコスメ）」を基盤とした、化粧品ブランド向けの広告ソリューションやMarketing SaaS（ブランドオフィシャル）が属しております。

売上高におきましては、店頭におけるポップアップイベントなどの販売促進への需要増加と、それと連携したオンラインにおける広告・ソリューションサービスの受注増加により、前年同期比で12.8%の増収となりました。

営業利益におきましては、増収が人材関連費用等の増加を吸収して、大きく増益しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は以下の通りとなりました。

売上高	4,215百万円（前年同期 3,736百万円 / 前年同期比 12.8%増）
営業利益	948百万円（前年同期 607百万円 / 前年同期比 56.3%増）

② リテール事業

当セグメントには、化粧品ECサイト「@cosme SHOPPING（アットコスメショッピング）」、化粧品専門店「@cosme STORE（アットコスメストア）」等の運営をしており、国内における小売業を中心としたサービスが属しております。

売上高におきまして、ECのスペシャルイベントが過去最高の流通総額を達成したことや、各ブランドにおけるイベントの先行予約品・限定品の販売など、当社ECでしか提供できない価値の訴求により、前年同期比で47.4%の増収となりました。店舗では、2023年9月に新規オープンした大型旗艦店「@cosme OSAKA」及びM&AをしたCosmeticsシドニー7店舗の寄与に加えて、既存店舗も前年同期比で32.8%伸長しており、店舗全体では59.6%の増収となりました。

営業利益におきましては、EC・店舗の増収により、人件費の増加や「@cosme BEAUTY DAY」のプロモーション費用も吸収して、増益しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は以下の通りとなりました。

売上高	19,928百万円（前年同期 13,520百万円 / 前年同期比 47.4%増）
営業利益	1,032百万円（前年同期 379百万円 / 前年同期比 172.6%増）

③ グローバル事業

当セグメントには、日本国外で展開するEC・卸売、店舗、メディア等のサービスが属しております。

売上高におきまして、香港店舗などが健闘したものの、中国越境ECや韓国事業の不調により減収となりました。

営業利益におきましても、上記理由に加え、第1四半期に発生した中国越境ECにおける在庫評価損もあり76百万円の赤字となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は以下の通りとなりました。

売上高	2,108百万円（前年同期 2,201百万円 / 前年同期比 4.2%減）
営業損失（△）	△76百万円（前年同期 営業利益 10百万円）

④ その他事業

当セグメントには、美容部員を派遣する人材派遣事業と、ユーザー向けのBtoC課金サービス、創業間もない企業も含め幅広い成長ステージの企業に投資する投資育成事業が属しております。

売上高におきましては、人材派遣事業における派遣人員の不足により、減収となりました。

営業利益におきましても、減収したことで減益での着地となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は以下の通りとなりました。

売上高	865百万円（前年同期 901百万円 / 前年同期比 4.0%減）
営業利益	102百万円（前年同期 124百万円 / 前年同期比 17.5%減）

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の部

当第2四半期連結会計期間末における資産の額は、前連結会計年度末に比べ2,162百万円増加し、26,463百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の額は、前連結会計年度末に比べ2,083百万円増加し、17,313百万円となりました。これは主に、現金及び預金が1,026百万円減少したものの、受取手形、売掛金及び契約資産が1,913百万円、商品が1,035百万円増加したこと等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の額は、前連結会計年度末に比べ79百万円増加し、9,150百万円となりました。これは主に、のれんが101百万円減少したものの、有形固定資産が228百万円増加したこと等によるものであります。

② 負債の部

当第2四半期連結会計期間末における負債の額は、前連結会計年度末に比べ2,478百万円増加し、16,088百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の額は、前連結会計年度末に比べ1,578百万円増加し、7,949百万円となりました。これは主に、短期借入金が500百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が1,080百万円、1年内返済予定の長期借入金が203百万円増加したこと等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の額は、前連結会計年度末に比べ900百万円増加し、8,140百万円となりました。これは主に、長期借入金が658百万円増加したこと等によるものであります。

③ 純資産の部

当第2四半期連結会計期間末における純資産の額は、前連結会計年度末に比べ316百万円減少し、10,375百万円となりました。これは主に、利益剰余金が482百万円、新株予約権が344百万円増加したものの、連結子会社 Glowdayz, Incの株式を追加取得した結果、資本剰余金が1,148百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年6月期通期の連結業績予想につきましては、2023年8月14日の決算短信で公表いたしました内容から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,723	5,697
受取手形、売掛金及び契約資産	4,149	6,062
商品	2,945	3,979
営業投資有価証券	998	974
その他	421	607
貸倒引当金	△4	△6
流動資産合計	15,231	17,313
固定資産		
有形固定資産	1,588	1,817
無形固定資産		
のれん	1,361	1,261
ソフトウェア	1,794	1,787
その他	694	658
無形固定資産合計	3,849	3,705
投資その他の資産		
投資有価証券	999	1,019
敷金及び保証金	1,826	1,888
その他	839	751
貸倒引当金	△31	△31
投資その他の資産合計	3,632	3,628
固定資産合計	9,070	9,150
資産合計	24,301	26,463

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,043	3,123
短期借入金	500	—
1年内返済予定の長期借入金	555	758
未払法人税等	303	247
賞与引当金	445	360
事業構造改善引当金	17	15
その他	2,508	3,445
流動負債合計	6,371	7,949
固定負債		
長期借入金	2,906	3,564
転換社債型新株予約権付社債	4,000	4,000
その他	333	575
固定負債合計	7,240	8,140
負債合計	13,611	16,088
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,467	5,467
資本剰余金	4,558	3,410
利益剰余金	△708	△226
自己株式	△280	△280
株主資本合計	9,038	8,372
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	99	109
為替換算調整勘定	961	934
その他の包括利益累計額合計	1,061	1,044
新株予約権	437	781
非支配株主持分	155	178
純資産合計	10,690	10,375
負債純資産合計	24,301	26,463

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年7月1日 至2022年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年7月1日 至2023年12月31日)
売上高	20,358	27,117
売上原価	11,126	15,275
売上総利益	9,232	11,842
販売費及び一般管理費	8,978	10,991
営業利益	254	851
営業外収益		
受取利息	3	5
受取配当金	3	3
助成金収入	10	4
為替差益	—	15
持分法による投資利益	—	32
その他	26	14
営業外収益合計	42	72
営業外費用		
支払利息	30	25
為替差損	85	—
投資事業組合運用損	4	3
持分法による投資損失	6	—
遊休資産諸費用	84	84
支払手数料	60	1
その他	8	3
営業外費用合計	278	115
経常利益	18	808
特別利益		
固定資産売却益	—	6
新株予約権戻入益	0	0
投資有価証券売却益	—	0
負ののれん発生益	—	0
特別利益合計	0	6
特別損失		
減損損失	7	—
事業構造改善引当金繰入額	—	15
その他	—	1
特別損失合計	7	16
税金等調整前四半期純利益	11	799
法人税等	30	292
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△19	506
非支配株主に帰属する四半期純利益	17	25
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△36	482

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△19	506
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13	△8
持分法適用会社に対する持分相当額	△159	18
為替換算調整勘定	△33	△29
その他の包括利益合計	△205	△18
四半期包括利益	△224	488
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△230	464
非支配株主に係る四半期包括利益	5	24

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年8月付で、連結子会社Glowdayz, Inc.の株式を追加取得いたしました。この結果、当第2四半期連結累計期間において、資本剰余金が1,148百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末において資本剰余金が3,410百万円となっております。

(セグメント情報等)

報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間において、より戦略に沿った情報開示と事業領域の区分整理のため、セグメント名称の変更及び一部サービスの計上セグメントを変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後のセグメント区分に基づき作成したものを開示しております。

旧セグメント	新セグメント
On Platform事業	マーケティング支援事業 (BtoC課金サービスをその他事業に変更)
Beauty Service事業	リテール事業
Global事業	グローバル事業
その他事業	その他事業

前第2四半期連結累計期間(自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント				その他 事業 (注) 1 (百万円)	合計 (百万円)	調整額 (注) 2 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 (百万円)
	マーケ ティング支 援事業 (百万円)	リテール 事業 (百万円)	グローバル 事業 (百万円)	計				
売上高								
一時点で移転される財	—	13,520	1,800	15,320	—	15,320	—	15,320
一定の期間にわたり 移転される財	3,736	—	402	4,137	896	5,033	—	5,033
顧客との契約から生じる 収益	3,736	13,520	2,201	19,457	896	20,353	—	20,353
その他の収益	—	—	—	—	4	4	—	4
外部顧客への売上高	3,736	13,520	2,201	19,457	901	20,358	—	20,358
セグメント間の内部 売上高又は振替高	250	17	10	277	13	289	△289	—
計	3,985	13,538	2,211	19,734	913	20,647	△289	20,358
セグメント利益	607	379	10	996	124	1,120	△866	254

(注) 1. 「その他事業」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、人材派遣事業、BtoC課金サービス等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△866百万円は、セグメント間取引消去2百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△868百万円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント				その他 事業 (注) 1 (百万円)	合計 (百万円)	調整額 (注) 2 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 (百万円)
	マーケ ティング支 援事業 (百万円)	リテール 事業 (百万円)	グローバル 事業 (百万円)	計				
売上高								
一時点で移転される財	—	19,928	1,699	21,627	—	21,627	—	21,627
一定の期間にわたり 移転される財	4,215	—	409	4,625	865	5,489	—	5,489
顧客との契約から生じる 収益	4,215	19,928	2,108	26,252	865	27,116	—	27,116
その他の収益	—	—	—	—	0	0	—	0
外部顧客への売上高	4,215	19,928	2,108	26,252	865	27,117	—	27,117
セグメント間の内部 売上高又は振替高	441	43	0	484	17	501	△501	—
計	4,657	19,971	2,109	26,736	882	27,618	△501	27,117
セグメント利益又は損失 (△)	948	1,032	△76	1,904	102	2,007	△1,156	851

(注) 1. 「その他事業」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、人材派遣事業、BtoC課金サービス等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△1,156百万円は、セグメント間取引消去3百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,159百万円であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。